

令和2年度

標準学力検査・総合質問紙調査結果

「標準学力検査(CRT)」および「総合質問紙調査(1-Check)」は、町内小学1年生から中学3年生までの全児童生徒を対象に実施しています。

1 標準学力検査結果

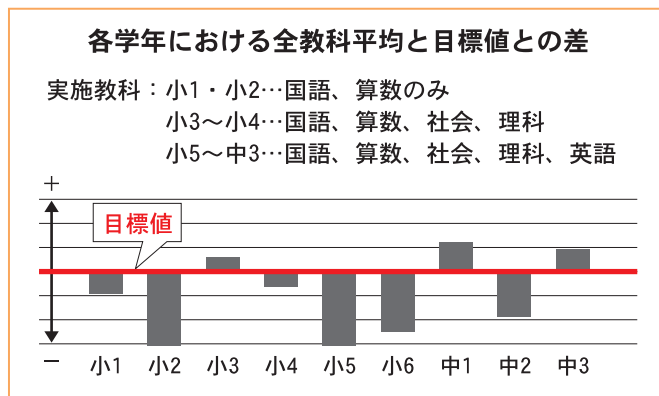
小学3年生、中学1、3年生で、全教科の平均が目標値を越えました(図1)。また、昨年度より各学年の総合成績が上がっています。

一方、小・中学校全体の傾向として、知識を活用する問題や記述式の問題で苦戦している児童生徒が多くみられました。授業や家庭学習において「自分の考えを書きためとめる学習」に取り組む必要があります。

2 総合質問紙調査結果

小学校で家庭学習の習慣が図られているという結果ができました。一方で中学2、3年生では家庭で

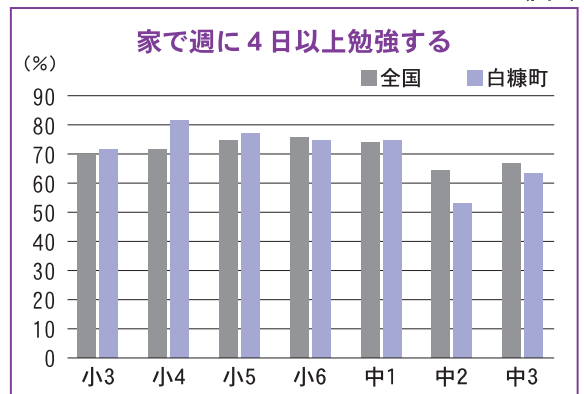
(図1)



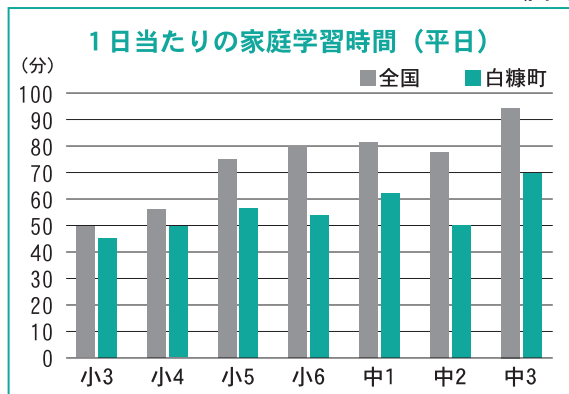
週に4日以上勉強する割合が低くなっています(図2)。また、1日当たりの家庭学習時間は、すべての学年で全国平均を下回っています(図3)。

また、テレビやゲームをする時間は、概ねどの学年でも全国平均より多いという現状から(図4)、改めて時間の使い方を見つめ直し、

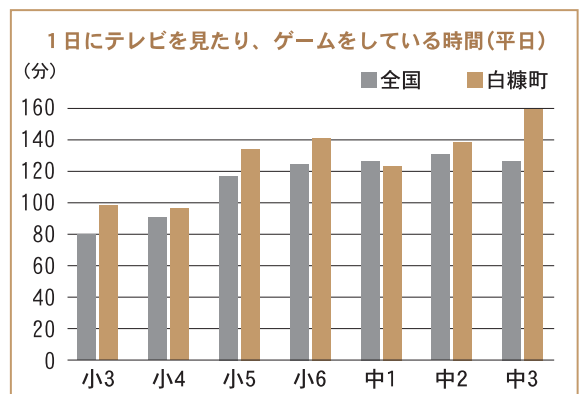
(図2)



(図3)



(図4)



規則的な生活・学習習慣の定着を図る必要があります。

標準学力検査・総合質問紙調査

今後の対応について

- 問題や課題に取り組むとき、自分の考えや意見を書くようにしましょう。
- 1日の生活を見直し、毎日決まった時間に家庭学習に取り組みましょう。
- 家庭学習では、授業の予習・復習を中心に取り組みましょう。
- テレビや情報端末機器等を使用する時間は、家庭でルールを決めて守りましょう(情報端末機器に関する町のルールを守りましょう)。

結果に関する問い合わせは、教育委員会指導室 ☎2-2171 (内線266)まで。